

**製品名: BAG1 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe01710**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.63mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 39 kDa; Observed MW: 52,46,33 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	BAG1
別名	BAG1; HAP; BAG family molecular chaperone regulator 1; BAG-1; Bcl-2-associated athanogene 1
遺伝子 ID	573
SwissProt ID	Q99933
免疫原	ヒト Bag1 の合成ペプチド

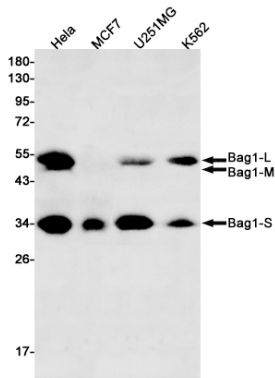
**背景**

基質遊離を促進することにより HSP70/HSC70 のシャペロン活性を阻害します。PPP1R15A のアポトーシス促進機能を阻害し、抗アポトーシス活性を有します。各種刺激によって誘導される BCL2 の抗細胞死機能を著しく増強します。

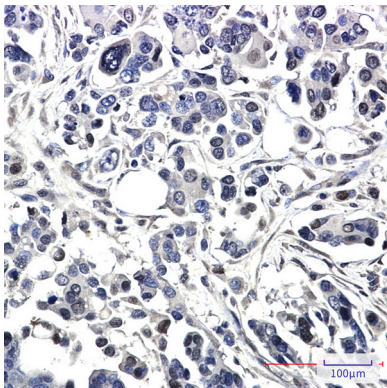
## 研究分野

細胞生物学

## 画像データ



BAG1 抗体を使用した、Hela、MCF-7、U251MG、K562 溶解物中の Bag1 のウェスタンブロット分析。



Bag1 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト胆管癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。